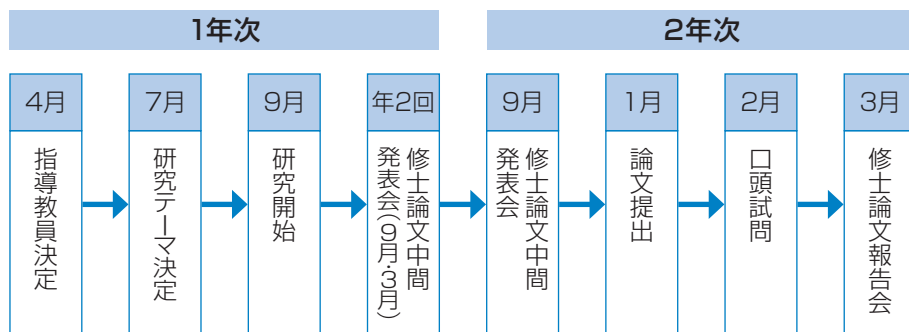


心理学のプロフェッショナルである公認心理師をめざす

社会は今、国家資格である公認心理師として相応しい素養を身につけた心理学の専門家を求めています。心理臨床学専攻では、公認心理師を養成するための充実したカリキュラムを提供しています。

大学学部で4年間で学んだ心理学の専門知識とスキルを基盤として、本専攻での丁寧な指導により、高度な専門職となるための実践力と、専門家として求められる科学的な研究能力を養います。

論文作成の流れ



修了要件

心理臨床学専攻 修士課程修了要件は下記の要件を満たし、合計30単位以上の履修が必要です。

心理臨床学専攻

研究基礎科目群から選択科目22単位以上、研究演習科目群から心理臨床学研究演習I・II8単位、合計30単位以上を修得。

また、必要な指導を受けたうえで、修士論文の審査および最終試験に合格することが必要です。

専攻の特徴

- 本専攻は、公認心理師養成に特化したカリキュラムとなっています。
- 充実した内容の学内実習、学外実習、ケース研究を合計12科目に設定してきめ細かく指導することにより、心理学の専門家として医療、福祉、教育、司法、産業などのさまざまな領域で活躍できる能力を養成します。

取得可能な資格

公認心理師

公認心理師は、心理職における唯一の国家資格です。国家試験に合格すれば「公認心理師」として、医療、福祉、教育、司法、産業の5領域で働くことが可能です。

本専攻では、公認心理師の受験資格に対応した質の高いカリキュラムと、国家資格取得に向けての充実したサポートを提供しています。

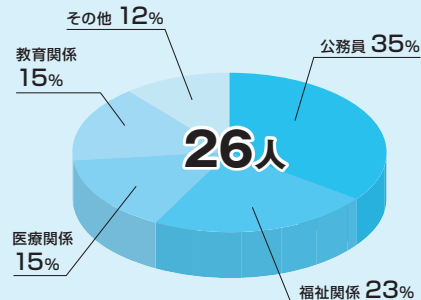
*本大学院で公認心理師受験資格を取得するためには、4年制大学において公認心理師法で定められた科目を修めて卒業したうえで本専攻において必要な10科目(心理実践演習:450時間の実習を含む)の履修が必要です。

就職に関する情報

大学院修了者 業種別進路決定状況

心理臨床学専攻【修士課程】

(令和2年度～令和6年度全修了生就職先比率)



*病院心理士、スクールカウンセラー、発達相談員、産業カウンセラーとして活躍しています。